

7/20 譲り合いの気もちの思いを込めて
夏の交通安全県民運動



「飲む前に ハンドルキーパー 決めたかな」をスローガンに、夏の交通安全県民運動が行われました。本市では宜野湾地区交通安全協会、市交通安全母の会、宜野湾警察署と協力し「飲酒運転をしない、させない、許さない」社会環境が根づくように、チラシと一緒に「譲り合いの気もち」の思いを込めた田芋入りのモチを配布し、飲酒運転根絶をアピールしました。

7/30 優勝目指して頑張ってください
宜野湾レッドシャークス九州大会出場報告



宜野湾レッドシャークスの皆さんが、去る4月に開催された第12回中部南支部学童軟式野球大会にて準優勝し、8月より福岡県にて開催予定の第43回稲尾杯野球少年大会への出場報告に訪れました。キャプテンの上原虎鉄さんは「一人一人が力を発揮し、チームワークを活かし優勝目指して頑張ります」とあいさつを行い、松川市長は「九州大会で優勝できるように応援しております」と述べました。

8/13 「日の神」に成功を願って
パラリンピック採火式を開催



東京2020パラリンピックの成功を願い、普天満宮にて採火式が開催されました。宜野湾市は普天満宮に祀られる「日の神」にちなんで、太陽光による採火を行いました。採火式に出席した宜野湾市身体障がい者福祉協会の結城和昭副理事長は「採火式に協会として参加できたことに嬉しく思います。パラリンピックへ出場される県出身選手の皆さまのご活躍と大会の成功を祈念します」と挨拶しました。

7/27 温かいご寄附ありがとうございます。
前田建設株式会社より寄附金の贈呈



前田建設株式会社(仲地政和代表取締役)より、普天間未来基金へ寄附金の贈呈がありました。仲地代表取締役は「宜野湾市には今までお世話になってきましたので、今後も、寄附が継続できるよう頑張ってお参ります」とあいさつを行い、松川市長は「日頃より市の建設、整備業務等に取り組んでいただき感謝申し上げます。今後も、市が発展していくようご協力をお願いいたします」と述べました。

8/10 個性としてとらえ、人を知る事が大事
はごろもチャレンジ隊が開催されました



中高生への福祉教育の普及、浸透を図ることを目的としてボランティア体験などを行う「はごろもチャレンジ隊」が行われました。今年は「障がいについて知ろう」をテーマに知的障がい、精神障がい、依存症の講義や質疑応答がオンラインで実施されました。参加した生徒からは「将来の進路決定に繋がりました」や「人との関わり合いが福祉には大切だとわかりました」などの感想がありました。

8/16 温かいご寄附ありがとうございます。
宜野湾市設備設計事務所より寄附金贈呈



宜野湾市設備設計事務所(饒辺永勇会長)より、普天間未来基金へ寄附金の贈呈がありました。饒辺会長は「宜野湾市にはお世話になっているので、恩返しがしたいと寄附を決めました。今後も市のために協力していきますのでよろしく申し上げます」と話し、松川市長は「いただいた寄附金は、ありがたく活用させていただきます」と述べました。寄附金はマイクロバスの購入費の一部に充てる予定です。

8/18 東京2020オリンピック レスリング銅メダル
屋比久翔平選手に市民栄誉賞を贈呈

東京2020オリンピック競技大会のレスリング男子グレコローマンスタイル77キロ級で、本市嘉数小・中学校卒業の屋比久翔平選手が銅メダルを獲得しました。市では、その栄誉を称えるため「宜野湾市民栄誉賞」を贈呈することを決定し、横浜市に在住する屋比久選手へ松川市長よりオンラインで報告しました。

松川市長は「みんなで応援していました。銅メダル受賞おめでとうございます。レスリングをはじめ、様々なスポーツや勉学に取り組む子どもたちの励み、大きな目標ができた大変喜んでいきます」とお祝いのメッセージを伝えました。屋比久選手は「多くの方々から応援をもらったのが、すごく嬉しかったです。力にもなりました」と話しました。

宜野湾市民栄誉賞の贈呈は、平成24年度の「宜野湾市女子バスケットボールチーム」、平成29年度の「比嘉里緒菜さん」に次ぐ、3人目となっています。



7/12 温かいご寄附ありがとうございます
株式会社オーディフより寄附金の贈呈



日頃より、小中学校へ給食を作っていたいただいている株式会社オーディフ(村野勝子代表取締役)より、市教育委員会へ寄附金の贈呈がありました。あいさつを行った村野代表取締役は「少しでも、子どもたちのコロナ禍の勉強にお手伝いできないかと思い、今回の寄附に至りました」と話し、知念教育長は「子どもたちの学びを止めないよう、最大限活用させていただきます」と述べました。

7/12 平和の大切さと命の尊さを次代へ継承
宜野湾市平和大使認定証交付式



戦争の悲惨さ、平和の大切さおよび命の尊さを次代へ継承する、宜野湾市平和大使の認定証交付式が行われ、市内4公立中学校から各2名と沖縄国際大学大学院生1名の計9名が認定されました。認定証を受け取った宮城亮太さん(真志喜中1年)は「平和大使になって、戦争の恐ろしさを伝えて、二度と戦争を繰り返さないような未来をつくりたいです」と決意を語りました。

7/14 温かいご支援ありがとうございます
まごころボランティア会より生理用品の贈呈



まごころボランティア会宅建業協会女性会員有志の会(又吉悦子会長)より、コロナ禍の中、困っている小中学生を支援したいと市教育委員会へ10万円分の生理用品(ナプキン)の寄贈があり、各小中学校へ配布しました。又吉会長は「生理用品が無く不登校になってしまった子どももいるとお聞きしました。今必要な子どもたちへ届けられたら幸いです」と話しました。

7/15 市内のこだわりの逸品をお届けします
GINOWAN IPPIN @HOMEを開催



新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている事業者を支援すると同時に、市特産品等をPRし今後の販路を拡大することを目的として、市内のこだわりの逸品をお届けする「GINOWAN IPPIN @HOME」を市役所正面入口前にて開催しました。スイーツを購入した市民の方は「市内には、おいしいお店がいっぱいあるので、このような取り組みで、もっと多くの人に広めてほしい」と話しました。